

議題 4

令和元年11月13日
学校教育部生徒指導課

平成30年度における不登校・いじめ・暴力行為の状況について（報告）

1 不登校児童生徒数

- (1) 本市における不登校児童生徒数の合計は1,417人で、前年度と比較すると、228人（19.2%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では467人で91人（24.2%）増加、中学校では868人で120人（16.0%）増加、高等学校では82人で17人（26.2%）増加した。
- (3) 小学校では3年連続、中学校では2年連続で増加した。

2 いじめの認知件数

- (1) 本市におけるいじめの認知件数の合計は4,459件で、前年度と比較すると2,372件（113.7%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では3,325件で、1,796件（117.5%）増加、中学校では、1,089件で554件（103.6%）増加、高等学校では45件で22件（95.7%）増加した。
- (3) 小学校、中学校において3年連続で増加した。

3 暴力行為の発生件数

- (1) 本市における暴力行為の発生件数の合計は1,034件で、前年度から比較すると565件（120.5%）増加した。
- (2) 校種別に前年度と比較すると、小学校では582件で336件（136.6%）増加、中学校では446件で229件（105.5%）増加、高等学校では6件で増減はなかった。
- (3) 平成27年度に初めて小学校での発生件数が中学校の発生件数を上回り、以後その傾向が続いている。
- (4) 小学校、中学校において2年連続で増加した。